



# 素敵に 生きよう

Vol.57

今年で17回目を迎えるひゅーま  
んフェスタ。10月30日から12月17日  
までの間に、「一人ひとりが感じた  
こと、学んだことが活かせるまちづ  
くりのために」というテーマで13の  
人権啓発イベントを実施しました。

その事業のひとつ「人権を考える  
市民の集い」が11月18日に松原市文  
化会館で開催されました。この日  
は、夕方から急に冷え込んだにもか  
かわらず、市民約500人が参加  
し、人権という視点で日常生活を見  
つめる方法について考える時間を  
共有しました。

## 「感謝の気持ちを持ち続け」

第1部では、精神の障害がある人  
たちと、サポートする人たちが互い  
に支え合い、障害のあるなしにか  
かわらず、誰もがいきいきとした  
生活ができるよう、さまざまな活  
動に取り組んでいる「社会福祉法人  
風媒花」のメンバーと、昨年の8月  
に沖縄の子どもたち70人と一緒に  
松原市文化会館で「鬼鷲く琉球王尚  
巴志伝」公演を行った中学生・高校  
生たちで結成された団体「MTBR

33」のメンバーによる、沖縄の伝統  
的な組踊り「エイサー」が披露されま  
した。「MTBR33」が活動を続けた  
と思ったのは、メンバーが鬼鷲公  
演の後に、入場者から「とってもよ  
かったよ」「感動したよ」という言葉  
をいただいたのがきっかけでした。  
舞台を支えてくれたすべての人に感  
謝という気持ちを持ち続け、まちづ  
くり貢献できることを目指してい  
ます。

## 「できることから少しずつ」

第2部では、俳優の杉良太郎さん  
にお越しいただき、ご講演いただき  
ました。

杉良太郎さんは、芸能界という華  
やかな世界で活躍されているイメー  
ジの強い人です。長年幅  
広い分野でボランティア活  
動をされてお  
られます。

「福祉・想  
いのまに」  
というテーマ



の中で、「人権について話をしないと  
いけない世の中。情けないね。そん  
なものなかったらいいねん」と、一  
見突き放したようなきつい言葉です  
が、今まで活動された経験からの言  
葉であり、人権の尊重という、当た  
り前のことを見つめ直すよききっか  
けを作ってくれました。さらに、「家  
族が集まって人権について考えよ  
う」と続けられました。

自然に日常生活の中で、誰もが  
人権を尊重しているという意識が根  
づいていく。あらためて、人権問題  
とは何かを考えるのではなく、普段  
の言動や行動の中に人権文化とい  
う思いが流れている。そのようなま  
ちは、誰にとっても住みやすいま  
ちになることでしょう。

参加された人々からは、「ユー  
モアを交えながら、とても楽しく  
また、考えさせられる講演でした」  
「努力の継続と言う事をあらためて  
教えられました。私も自分にできる  
ことを少しずつ福祉に協力してい  
きたいです」、「ボランティアは見返  
りを求めないとおっしゃっていま  
したが、子育てにも通じるというこ  
とをあらためて思った。子供たちが  
感謝の気持ちを忘れることがないよ  
う育てていきたいと思いました」な  
どの感想が寄せられ、心と心が触れ  
合い、温かさが連鎖し合う、そんな  
集いとなりました。

内容についてのご意見・ご感想を人権  
文化室(☎337-3101)へお寄せくだ  
さい。

### 男女共同参画推進事業講座

## 「人前で話すことが苦手な人へ」

友だちとのおしゃべりはいくらでもするけど、  
大勢の前で話すことは苦手、いつも「でき  
ません」と断っている。このような場面を経験し  
たことはありませんか？今回の講座では、落ち着  
いて、人前で話ができる自分にするコツをつかむ  
ことを目指します。苦手意識を克服して、話すこ  
とのスキルアップをはかりましょう。

とき 2月6日・20日・27日(各日曜日)  
午前10時～正午

ところ 市役所福利厚生会館3階会議室

講師 石崎和美さん(むこがわCAP代表)、福田や  
とみさん(阪神心理研究室ぼむる～む室長、  
臨床心理士) ※27日の講師は未定

定員 30人(先着順、3回通して参加できる人優先)  
保育 1歳6カ月から就学前までの子ども、保育料  
1人1回100円

手話通訳・要約筆記 無料

※保育・手話通訳・要約筆記の申し込みは、各実  
施日の10日前までに人権文化室へ

申込み 電話で人権文化室へ(☎337-3101)